

# 健康宣言

被保険者の健康の保持増進をサポートするため、  
役職員が健康でありつづける

当組合は、国民健康保険事業に従事する保険者として、土木建築業に携わる従業員やその家族の方に直接働きかけるとともに、加入事業所の健康経営に向けた取組みを積極的に支援し、また、良質な医療サービスを提供するなど、被保険者の皆様の健康の保持増進に役立つ支援を役職員一丸となって取り組んでおります。これらの保険者としてのサービスを効果的に提供するうえでは、役職員一人ひとりが身体的、精神的にも健康であり、働きがいを感じられる職場であることが重要です。

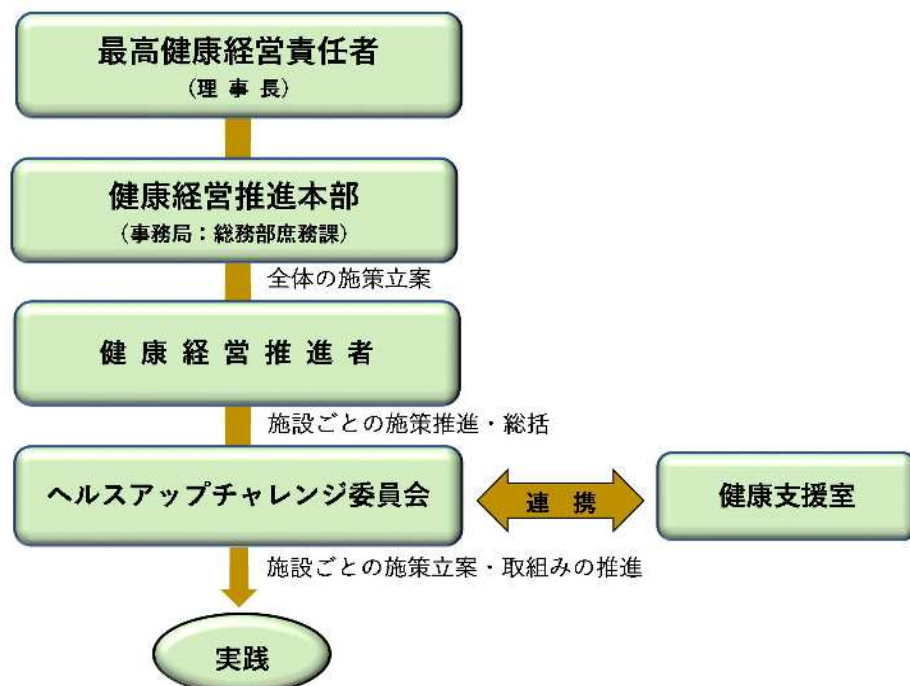
そのために、役職員の心身の健康管理のほか、健康意識を高めるための教育や健康的な生活習慣の定着などの取組みを率先して行うとともに、働きやすい環境の整備を進め、一人ひとりが健康で活躍できる職場づくりの実現を目指してまいります。

全国土木建築国民健康保険組合  
最高健康経営責任者 栄畑 潤

## 1 推進体制

最高健康経営責任者である理事長のもと、健康経営推進本部を設置するとともに、施設ごとに「健康経営推進者」及び「ヘルスアップチャレンジ委員会」を設置し、施設ごとの健康課題に応じた職員の健康づくりや職場環境の整備に資する取組みを推進していきます。

また、健康支援室との連携により、保健指導、栄養教育、メンタルヘルス対策等の職員の健康保持増進を図るための施策を展開するほか、コラボヘルス等を活用した健康課題の分析及び目標設定を行い、課題改善に向け実行可能な取組みを推進していきます。



## 健康経営推進本部

本部長：理事長

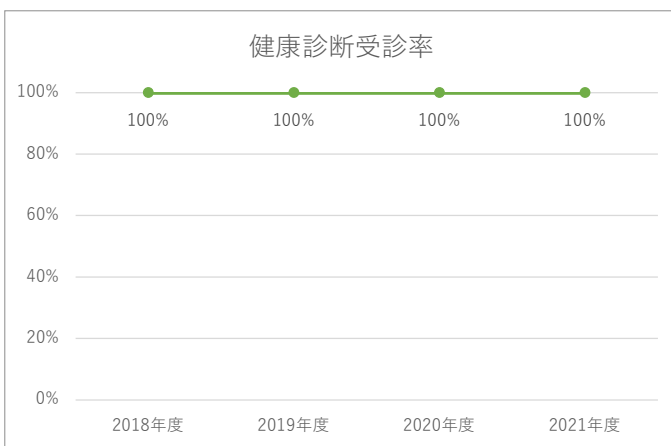
副本部長：専務理事、常務理事

本 部 員：管理本部長、事業本部長、総務部長、経理部長、業務部長、保健事業部長、  
 関東事務所長、関西事務所長、給付事務センター所長、厚生中央病院事務部長、  
 中部健康管理センター事務長、関西健康管理センター事務長、産業医、産業保健師、  
 ヘルスアップチャレンジ委員会を代表するもの

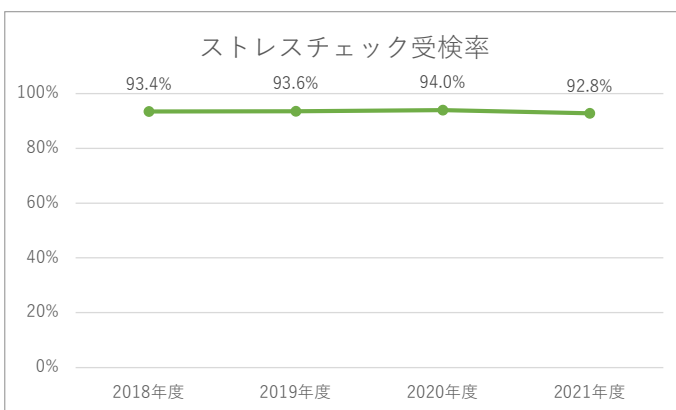
施設名	健康経営推進者	ヘルスアップチャレンジ委員会の設置
本部事務所	総務部長	○
関東事務所／給付事務センター	関東事務所長	○
関西事務所	関西事務所長	○
厚生中央病院	厚生中央病院長	○
中部健康管理センター	中部健康管理センター所長	○
関西健康管理センター	関西健康管理センター所長	○

## 2 健康に関するデータ

### (1) 健康診断受診率及びストレスチェック受検率



- 事業主の実施義務である定期健康診断の受診率は、100%を維持しています。  
 また、法令で定める検査項目以上の内容を実施しています。



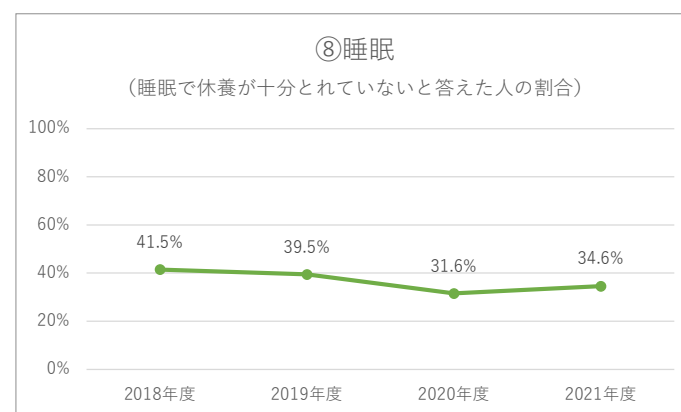
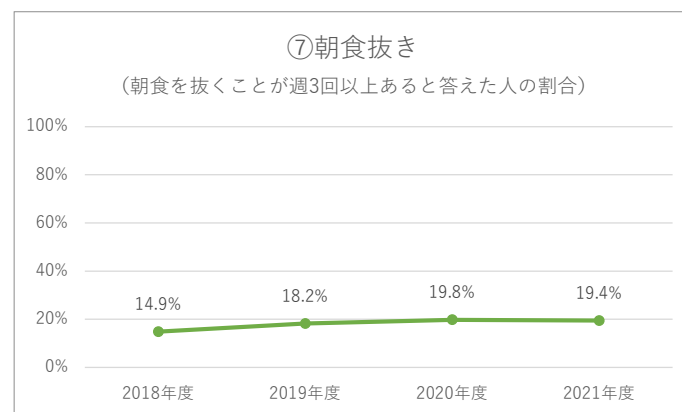
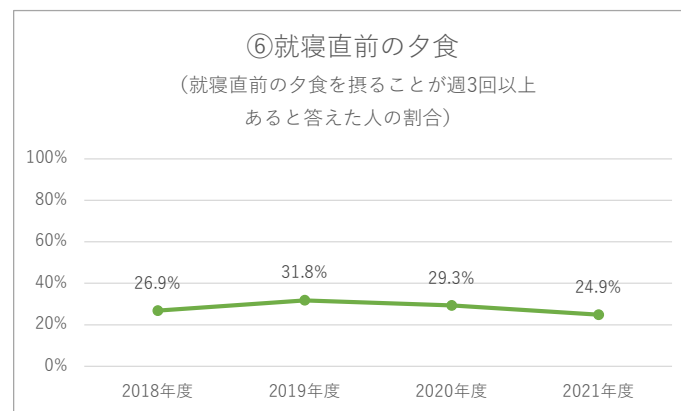
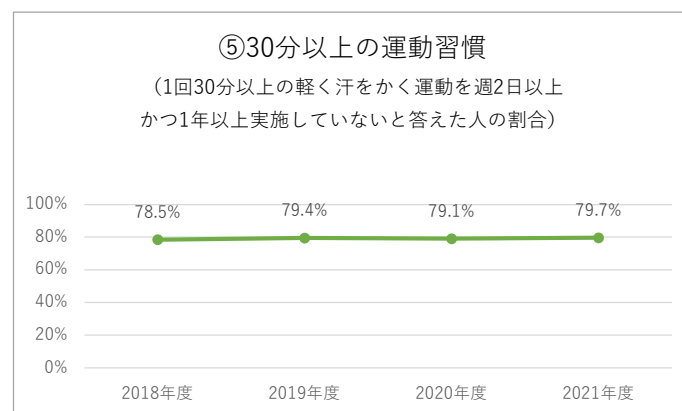
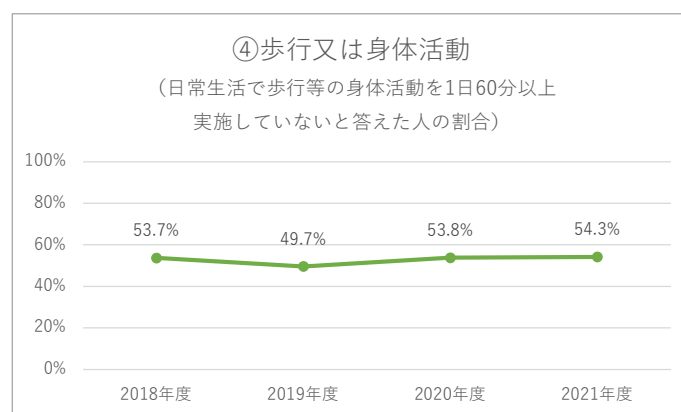
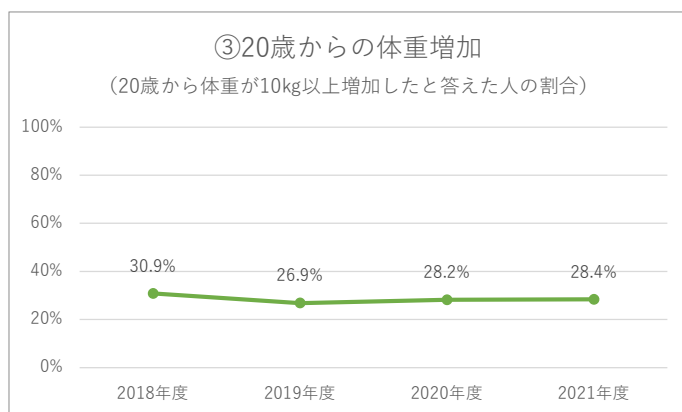
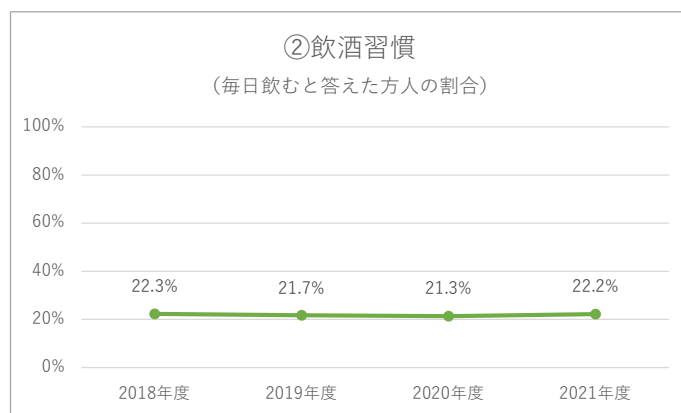
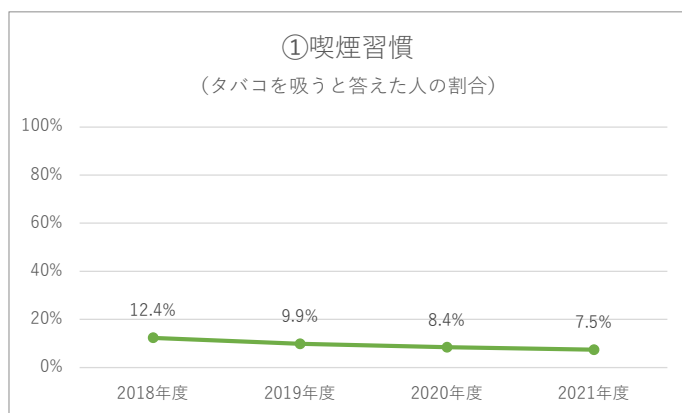
- 毎年90%以上の受検率です。ストレスチェックの結果をセルフケアに活用する一方で、集団分析で課題が把握された職場については、専門家のアドバイス等も活用して効果的な取組みを進めています。

## (2) 職員の生活習慣に関するデータ (全体)

- 職員の生活習慣について、健診時に実施している生活習慣の問診結果4年分の推移を見比べてみました。

この結果は、40歳未満を含めた職員のデータ(30歳未満の一部データを除く。)を使用しています。

個々の生活習慣の状況を見ると、「①喫煙習慣」は年々改善しており、「⑥就寝直前の夕食」は4.4ポイント前年度より改善した一方で、「②飲酒習慣」は0.9ポイント、「⑧睡眠」は3ポイント前年度より悪化傾向にあります。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が考えられます。

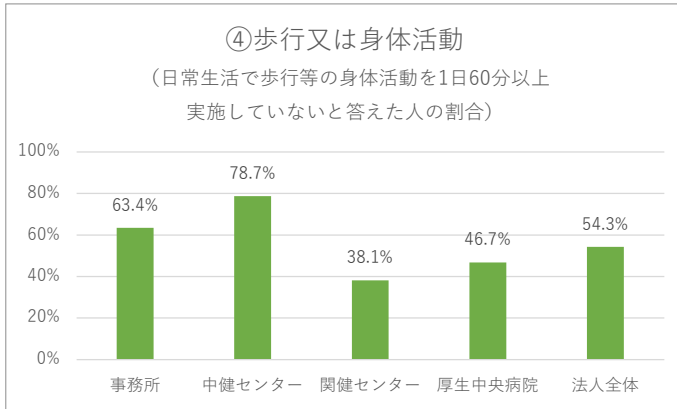


### 3 健康課題

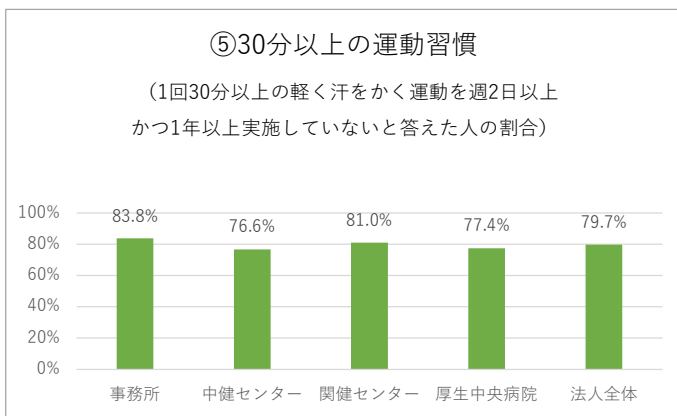
#### (1) 施設別にみた健康課題

本組合は、保険者組織（事務職等）と病院組織（医療職や事務職等）という様々な職種や勤務形態が混在しており、施設によって健康課題が異なると考えられます。

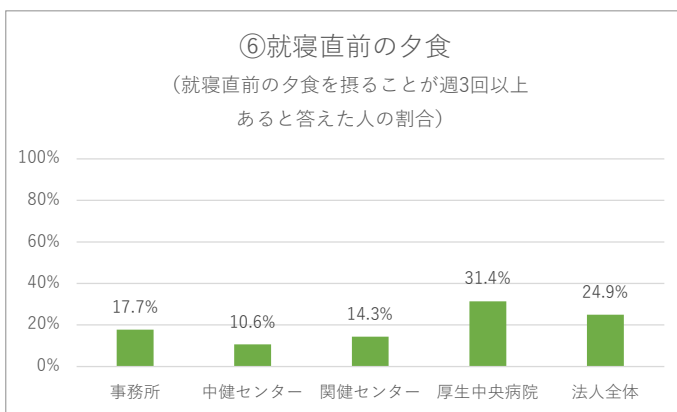
2021年度の生活習慣の問診結果について法人全体と比較して、施設別に健康課題を分析しました。



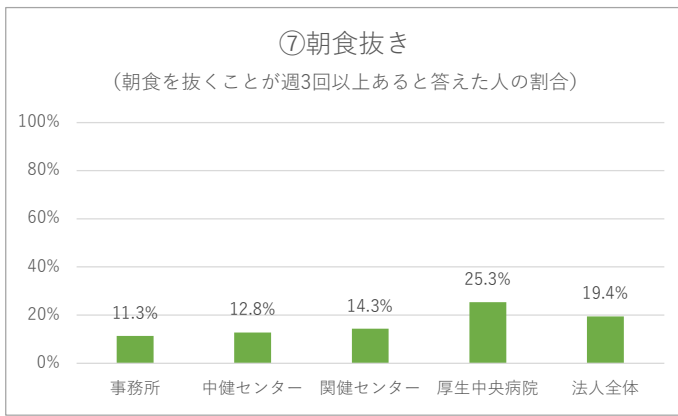
- 事務所、中部健康管理センターは、「歩行等の身体活動を1日60分以上実施していない」人の割合が高い状況です。



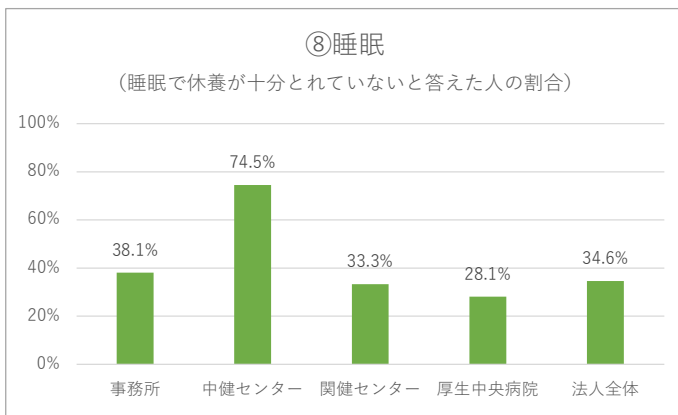
- 法人全体として、「運動習慣がない」人の割合が高い状況です。



- 厚生中央病院は、「就寝直前の夕食を摂ることが週3回以上ある」人の割合が高い状況です。

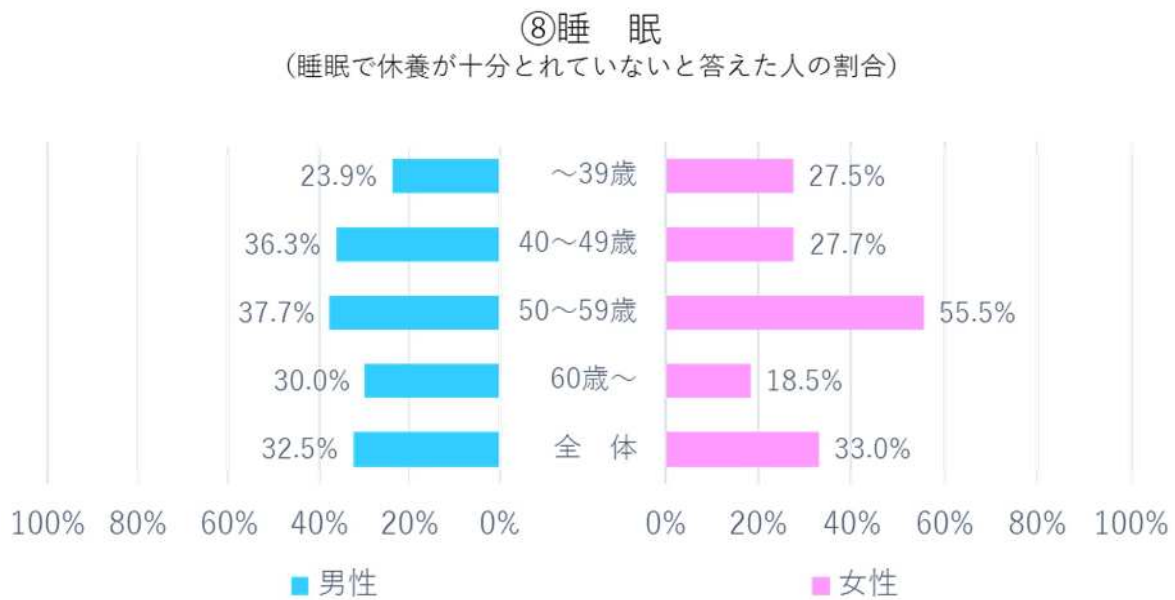


- 厚生中央病院は、「朝食を抜くことが週3回以上ある」人の割合が高い状況です。



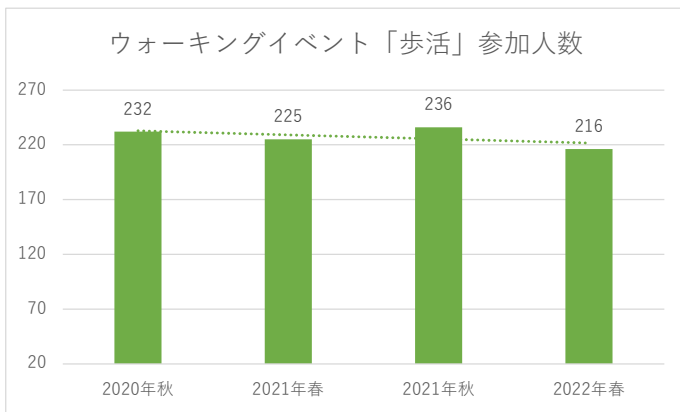
- 中部健康管理センターは、「睡眠で休養が十分とれていない」人の割合が高い状況です。

## (2) 性別・年代別にみた健康課題



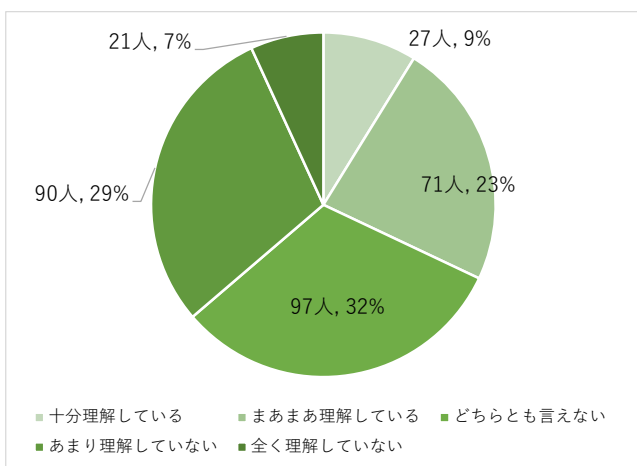
- 睡眠について性別・年代別に見比べると、「睡眠で休養が十分とれていない」人の割合は、男性女性とも 50~59 歳の層が高い状況にあります。

### (3) 健康意識とコミュニケーションの課題



- 健康推進アプリ kencom の登録を促進し、年2回開催されるウォーキングイベント「歩活」への参加を推奨し、コミュニケーションの促進も併せて行っています。
- 東京オリンピック後に行われた2021年秋の「歩活」は、参加人数は増加しましたが、全体的には減少傾向にあり、いかに「歩活」のイベントに参加してもらうかが課題となっています。

## 4 健康経営の取組みに関する理解度



- 健康経営の取組みに関するアンケートでは、「十分理解している」「まあまあ理解している」と回答した職員は全体の1/3でした。
- 健康経営の取組みに関する理解度を高めてもらうことが課題となっています。

## 5 健康経営の取組みに関する指標（観察指標）

項目	評価指標	実績				
		2018	2019	2020	2021	
1 ワークライフバランスの推進	超過勤務の削減	1人あたり超勤時間	89時間*	122時間	85時間	80時間
	年休取得率の向上	年休取得率	74.8%	71.9%	55.4%	75.8%
2 健康増進・生活習慣病予防対策	健康診断の実施	事業主健診実施率	100%	100%	100%	100%
	精密検査受診率の向上	精密検査受診率	94.6%	90%	84.1%	92.9%
	保健指導実施率の向上	事後指導実施率	100%	100%	100%	100%
		特定保健指導利用率	46.3%	50.2%	40.9%	31.7%
	運動習慣の定着	1日60分以上の歩行・身体活動実施割合	46.3%	50.3%	46.3%	45.7%
食生活の改善	週3日以上朝食欠食者率	14.9%	18.2%	19.8%	19.4%	
3 喫煙対策	喫煙率の削減	喫煙率	12.4%	9.9%	8.4%	7.5%
4 メンタルヘルス対策	睡眠充足度の向上	睡眠による休養充足率	58.5%	60.5%	68.4%	65.4%
5 職場の活性化	職員間のコミュニケーションの促進	みんなで歩活参加率	28.9%	28.4%	28.3%	29.6%
6 ヘルスリテラシーの向上	健康意識の向上	kencom登録率	37.4%	38.6%	39.3%	38.7%
7 感染症予防対策	予防接種の接種率の向上	インフルガ予防接種の接種率	80.3%	82.2%	78.6%	83.6%
8 家族の健康増進・生活習慣病予防対策	特定健康診査受診率の向上	特定健康診査受診率	40.8%	37.3%	31.3%	41.8%

※ 2018年の実績には、厚生中央病院職員の時間が含まれていません。

## 6 対外的な評価等

### ■ 健康経営優良法人【ホワイト500】



- ・ 2018年 健康経営優良法人（大規模部門）ホワイト500
- ・ 2019年 健康経営優良法人（大規模部門）ホワイト500
- ・ 2020年 健康経営優良法人（大規模部門）
- ・ 2021年 健康経営優良法人（大規模部門）ホワイト500
- ・ 2022年 健康経営優良法人（大規模部門）ホワイト500

### ■ 子育てサポート企業【くるみん】

- ・ 2016年取得



### ■ がん対策推進企業アクション 推進パートナー企業 登録証



- ・ 2017年登録
- ・ 2021年度はがん検診の啓発に向けた小冊子「がん検診のススメ」を全職員に配布しました。
- ・ 毎月発信している「健康経営ニュース」でもがん疾患に関する情報提供をしています。
- ・ 全国土木建築国民健康保険組合による女性のがん検診（乳がん検診、子宮頸がん検診）の補助金制度について職員にアナウンスしています。